

学校体育館 エアコン設置 物価高騰対策 一部実現！！

日本共産党流山市議団が今年7月19日に提出した緊急要望書に盛り込まれた事業が大きく前進しました。

障害者福祉・介護施設 保育園への公費助成が実現

8月23日に開催された市議会
全員協議会では、第3回定例会
(9月1日開会、10月4日閉会)
に提出される議案が説明されま
した。

きました。
また、7
月19日に
は、緊急
要望書を
市長へ提



補正予算議案には、市内23小
中学校全ての体育館にエアコン
設置費用(来夏までに設置)の
約20億円(100%市債)に加
え、物価等高騰対策に係る経費
として総額2億6千万円余(1
00%国費※『新型コロナウイルス
感染症対応地方創生臨時交
付金』)が盛り込まれました。

党市議団は、今年6月、市内
小学校で集団熱中症の発生に対
する緊急質問を実施し、体育館
へのエアコン設置を強く求めて

きました。
また、7
月19日に
は、緊急
要望書を
市長へ提
出し、物価等の高騰や感染症の
対策を求めてきました。

今回、市の補正予算案には、
党市議団が要望した「介護関連
施設への公費助成」として7千
万円、「障害者関連施設への公
費助成」として5200万円、
「保育所・園の給食費公費助成」
として7600万円、計2億円
が予算案に盛り込まれたこと
になります。

物価等の高騰対策では、第2
回定例会の一般質問で取り上げ
た「学校給食に対する公費助成」
6千万円余の実現に続き、約2
億円の支援が実現できました。
大きく市民の声が反映されたも
のと言えます。

また、学校体育館へのエアコ
ン設置では、「災害時の避難所
運営に欠かせない」という繰り
返し唱えてきた党の提案が執行
部の提案理由の一部に盛り込ま
れました。市民の力が勝ち取っ
た確かな成果です。

同時に、学校施設の老朽化対
策も同時に着手できるよう、引
き続き頑張ります。ご支援・ご
協力をお願いします。



流山市議会議員

小田 桐たかし

使用強制は撤回を 指定ごみ袋の導入悪用！？

感染対策や物価等の高騰対策に向け、国が流山市へ交付する『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』は5億円余。交付金の使用にあたっては市から千葉県へ「実施計画」を提出しなければなりません。

日本共産党小田桐たかし市議が行った資料請求で、その実施計画に疑念を持たれかねない項目があることが分かりました。

「ごみ有料化を検討？」

流山市が千葉県へ提出した「計画」とされています。

には、「エネルギー・原材料・食料等安定供給対策」として、1230万円の交付金を使い、クリーンセンターの安定稼働を図るため投入される灯油代に使うというもの。その説明には、「灯油価格の高騰において、ごみ処理に関し、受益者負担として市民・事業者から一般廃棄物の搬入に対して徴収するごみ処理手数料に転嫁せず、コロナ禍において原油高騰・物価高騰等に直面する市民・事業者の負担を軽減するもの」

とされています。しかし、議会にも市民にも、ごみ処理手数料（ごみ有料化）の導入計画は全くなく、クリーンセンターへ搬入する一般廃棄物の処理費値上げも議案にすらなっていません。そもそも、市で処理する経費全て、物価等高騰を理由に値上げや有料化に踏み切れば、強い反発は必至です。本来、市民や事業者向けの施策経費を、市の負担軽減に振り向けたといわざるをえません。

使用強制をしなければ、必要なかったのに…

『生活困窮者等への支援』と偽り？

さらに「計画」には、「コロナ禍における物価高騰等に直面する生活困窮者等の支援」として、884万円の交付金を使い、おむつ使用世帯（9400世帯）へ指定ごみ袋を配布するとしています。

おり、値上げとなり、生活保護世帯や多子世帯など真に生活が困窮している世帯も含め全世帯に重い負担が強いられています。

使用強制は撤回を

しかし、指定ごみ袋の導入は、流山市の責任です。あたかも、困っている市民へ、市が温かい「支援」をしているかのように偽っているとの疑念が持たれかねません。

使用強制がなくなれば、おむつ世帯への支給も必要なくなります。本質は、分別・資源化・減量化です。ご一緒に使用強制は撤回させましょう。

しかも、市場任せにしている指定ごみ袋の価格は、党市議団の指摘ど